

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	ご家族様が集まる行事の際に、意見交換会を行ったり、アンケートを実施する等更なる意見集約の工夫が必要である。	ご家族様の意見を集約し、行事、ユニット運営に反映させる。	年2回のご家族様と行う行事の際に良かった点、悪かった点、どのような行事をご希望されているか等のアンケートを実施したり、日々の面会時にご要望やご意見をお伺いし、申し送りノート等に記載して次回開催の行事やユニット運営に反映することが出来るようになる。	12ヶ月
2	23	「ニヤリホット」を継続的に実施される事により、利用者様との関係性を深め、本人様の希望や意向がより把握できると考えられるので、継続ができる工夫が必要である。	職員が「ニヤリホット」を常に意識し、情報を共有し、利用者様本人の希望や意向がより汲み取ることが出来るようになる。	グループホーム内の朝礼で、「ニヤリホット」を職員が発表しあうことで、入居者様の素敵だと思える良い所を見つけようとする意識を高める。そのことによって、全職員が、入居者様と今まで以上に向き合おうとする認識を持ち、入居者様とコミュニケーションを深め、ご希望や意向を汲み取っていくことが出来るようになる。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。